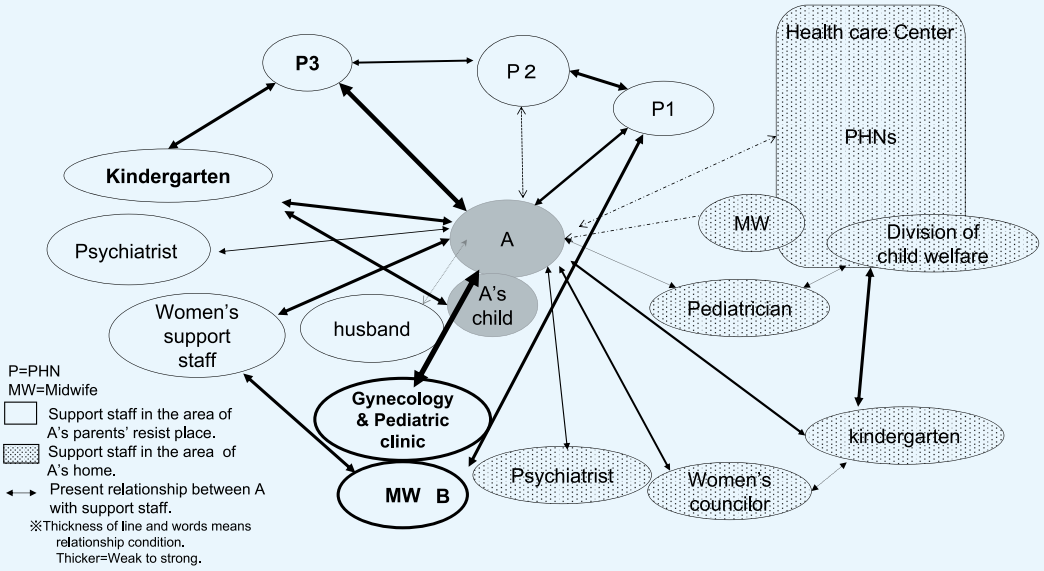
表紙・目次・奥付ほか

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/46826

ISSN 1346-8502



JOURNAL OF THE TSURUMA HEALTH SCIENCE SOCIETY, KANAZAWA UNIVERSITY

VOL.40 NO.2 2016

金沢大学 つるま保健学会誌

金沢大学つるま保健学会 Tsuruma Health Science Society, Kanazawa University

目　　次

原　著

● **二川　香里**
不育症妊婦の妊娠初期における経験 …… (英文) …　1

● **鬼頭　泰子 , 田淵　紀子 , 藤田　景子 , 奥村　真美 , 中野　育子**
子育て期にある女性がん患者の子どもとその家族への看護の実態
－子ども，母親，家族へのそれぞれのアプローチからの検討－ …… 11

● **京田　　薫 , 板谷　智也 , 塚崎　恵子**
地域在住の高齢者において介護の有無が避難行動の意向に及ぼす影響 …… (英文) …　23

● **多崎　恵子 , 稲垣美智子 , 松井希代子 , 堀口　智美**
糖尿病ケアにおける看護師のソーシャルスキルおよび
批判的思考態度の実態と糖尿病教育スタイルとの関係 …… (英文) …　33

● **藤田　高史 , 能登谷晶子 , 砂原　伸行 , 中谷　　謙 , 加藤　清人 , 永井　貴士 , 井上　克己**
アルツハイマー病者の IADL に影響する高次脳機能障害についての検討
－机上 IADL 検査を用いて－ …… (英文) …　45

● **平岡　敦子 , 島田　啓子 , 藤田　景子**
多様なニーズを抱える母子への切れ目ない支援 …… (英文) …　57

● **鬼頭　泰子 , 田淵　紀子 , 藤田　景子 , 奥村　真美**
子どものいるがん患者の家族への看護
～必要とされるケアについての看護者の認識～ …… (英文) …　67

● **山本　香織 , 杉田真奈花 , 佐々木　望 , 清水　幸恵 , 高　　幸恵 , 原田紗也子 , 南　　咲 ,**
山本　由佳 , 夕下　　豊 , 塚崎　恵子 , 京田　　薫 , 板谷　智也
地域に住む高齢者における自然災害時の支援の必要性に関する認識と影響要因
―個別防災健康教育を実施して― …… 77

● **松井由美子 , 津田　朗子**
インドネシア共和国マカッサル市の母子健康診査項目と母子保健の課題
―保健所と母子病院の比較から― …… 85

短　報

● **正源寺美穂 , 加藤真由美 , 北岡　和代 , 浅川　康吉 , 植村小夜子 , 小林　素子 , 甲斐　正義 , 石田　和生 , 稲垣　嘉信**

独居高齢者の生活行動センシング指標の開発にむけた縦断的検討による心身機能および生活行動スピードの推移 ……（英文）… 95

その他

● **平岡　敦子 , 島田　啓子**

母子保健コーディネーターに関する地方自治体ホームページでの公開の現状と課題……（英文）… 101

CONTENTS

Originals

● Kaori Futakawa
First trimester experiences of pregnant women that have suffered recurrent pregnancy loss: a qualitative study …… 1

● Yasuko kitou, Noriko Tabuchi, Keiko Fujita, Masami Okumura, Ikuko Nakano
Nursing for children of female patients with cancer in the child-rearing period and their families: a study of approach to children, maternal roles, and mother–child and family relationships …… 11

● Kaoru Kyota, Tomoya Itatani, Keiko Tsukasaki
Influences of care dependency on attitudes toward evacuation among elderly community residents …… 23

● Keiko Tasaki, Michiko Inagaki, Kiyoko Matsui, Tomomi Horiguchi
Current state of nurses' social skills and critical thinking dispositions, and their relationships with nurse teaching styles in diabetes care …… 33

● Takashi Fujita, Masako Notoya, Nobuyuki Sunahara, Ken Nakatani, Kiyohito Kato, Takashi Nagai, Katsumi Inoue
Cognitive dysfunction affecting instrumental activities of daily living in patients with Alzheimer's disease: a comparative study using the At-the-Desk test …… 45

● Atsuko Hiraoka, Keiko Shimada, Keiko Fujita
Continuous support for mothers and children with a variety of needs …… 57

● Yasuko Kitou, Noriko Tabuchi, Keiko Fujita, Masami Okumura
Nursing for cancer patient families with children: ability of nurses to recognize when care is needed …… 67

● Kaori Yamamoto, Manaka Sugita, Nozomi Sasaki, Sae Shimizu, Yukie Taka, Sayako Harada, Saki Minami, Yuka Yamamoto, Yutaka Yushita, Keiko Tsukasaki, Kaoru Kyota, Tomoya Itatani
Awareness of the necessity of support provided at the time of a natural disaster among the elderly living in the community and influencing factors - Implementation of disaster prevention health education for individual elderly people - …… 77

● Yumiko Matsui, Akiko Tsuda
Items of Mother and Child Medical Checkup and Issues in their Health in Makassar, Republic of Indonesia –Comparison between a Healthcare Center and Maternity Hospital– …… 85

Short Communications

● **Miho Shogenji, Mayumi Kato, Kazuyo Kitaoka, Yasuyoshi Asakawa, Sayoko Uemura, Motoko Kobayashi, Masayoshi Kai, Kazuo Ishida, Yoshinobu Inagaki**

Longitudinal study examined to physiological and psychological transition for the development of sensing indicators of daily livings among solitude elderly persons ····· 95

Others

● **Atsuko Hiraoka, Keiko Shimada**

Current Status and Issues of the Local Government Home Page to the Public about Allocating Maternal and Child Health Coordinators ····· 101

平成28年度医薬保健学総合研究科保健学専攻博士後期課程学位論文題目

（平成 28 年９月修了）

看護科学
学生氏名　イルワン
論文題目　Development of the Salt Reduction and Efficacy Maintenance Program in Indonesia
（インドネシアにおける減塩と係る自己効力感維持のためのプログラム開発）

看護科学
学生氏名　谷内　薫
論文題目　Quantification of body movement measurements in low-birthweight infants
（低出生体重児の体動計測と定量化）

医療科学
学生氏名　高津　安男
論文題目　Magnetic resonance imaging relaxation times of female reproductive organs
（女性生殖器の MRI 緩和時間）

リハビリテーション科学
学生氏名　菅原　優翔
論文題目　Electrophysiological evidence showing muscarinic agonist-antagonist activities of N-desmethylclozapine using hippocampal excitatory and inhibitory neurons
（海馬興奮性および抑制性ニューロンを用いた N-desmethylclozapine のムスカリン性受容体アゴニスト - アンタゴニスト活性を示す電気生理学的根拠）

医療科学
学生氏名　市原　裕紀
論文題目　Evaluation of the subtraction method utilizing posterior view for improving visibility of the sentinel lymph nodes for lymphoscintigraphy in breast cancer
（乳癌リンパ節シンチグラフィにおけるセンチネルリンパ節の視認性を改善させるための後面像を利用した減算法の評価）

リハビリテーション科学
学生氏名　村田　寛一郎
論文題目　Walking gait changes after stepping-in-place training using a foot lifting device in chronic stroke patients.
（慢性片麻痺患者における踵挙上補助装置を用いた足踏み運動課題後の歩行の変化）

平成28年度医学系研究科保健学専攻博士後期課程学位論文題目

看護科学
学生氏名　宮崎　彩乃
論文題目　Development of questionnaire on perception of patients with diabetic nephropathy
（糖尿病性腎症患者の状況の捉え方質問紙の作成）

看護科学
学生氏名　山崎　智里
論文題目　Development of an electronic partogram for safe and secure labor management.
（安全・安心な分娩管理に向けた電子パルトグラムの開発 ）

看護科学
学生氏名　米田　昌代
論文題目　Validity on tentative design of a regional cooperation system for post-discharge perinatal grief care by the Delphi method
（デルファイ法による退院後の周産期のグリーフケアと地域連携システムモデル試案の妥当性の検討）

医療科学
学生氏名　金本　雅行
論文題目　Preliminary study of apparent diffusion coefficient assessment after ion beam therapy for hepatocellular carcinoma
（粒子線治療後の肝細胞癌における ADC 値評価の基礎的検討）

金沢大学つるま保健学会誌
投 稿 規 程

（投稿資格）

1．投稿資格者は，次のとおりとする。

一，つるま保健学会会則第 5 条第 2 項各号に定める者

二，その他，つるま保健学会誌（以下「会誌」という）編集委員会が特に認めた者（脚注）

（投稿の制限）

2．原稿は，未発表のものに限る。

（投稿の種類）

3．原稿は，邦文及び欧文の原著，短報及びその他とし，次の内容に該当するものでなければならない。

なお，原著の長さ及び引用文献・図表等の記載方法は，別紙執筆要領のとおりとする。

一，原著　　独創性のある結論の明確な論文及び，学術的な価値が高いと，会誌編集委員会が認めた論文。

二，短報　　独創的であるが断片的な研究で，研究方法，操作，技術，装置の改良，新しい試み，あるいは応用等に関し簡単に表現したもの。

三，その他　研究，技術に関する参考資料及び解説・調査・集計・報告・症例報告等。

（倫理規定）

4．人を対象とした研究では，ヘルシンキ宣言に基づき国および所属機関等の定める倫理指針を遵守し，倫理的に十分に配慮された内容でなければならない。動物を対象とした研究では，動物の保護および管理に関する指針の趣旨に沿ったものとする。また，その旨を本文中に明記すること。

（受付期間）

5．受付期間は，別に定める。

（提　出　先）

6．原稿（原本 1 部，写 3 部）には，別紙の投稿届を添えて，会誌編集委員長に提出するものとする。

（原稿の採否）

7．原稿の採否は，会誌編集委員会が決定する。

（校　　正）

8．著者校正は再校までとし，校正刷を受領後 3 日以内に校正のうえ会誌編集委員長に提出しなければならない。

なお，校正時における原稿の変更は認められない。

（著　作　権）

9．本誌に掲載された論文等の著作権はつるま保健学会に帰属する。

（発　　行）

10. 会誌は，年 2 回（8 月，2 月）発行する。

（脚注）「会誌編集委員会が特に認めた者」の目安は，本会を定年あるいは異動により退職した教職員並びに金沢大学医療技術短期大学部，金沢大学医学部保健学科，金沢大学医薬保健学域保健学類，金沢大学大学院医学系研究科保健学専攻及び金沢大学大学院医薬保健学総合研究科保健学専攻を卒業又は修了した者（なお，本学系教職員が共著者として含まれることが望ましい）また，金沢大学大学院医薬保健総合研究科保健学専攻（博士後期課程）における論文提出による博士の学位申請取扱いに関する内規の第 2 条の要件を充たす者とする。

平成 25 年　8 月 1 日　改定

金沢大学つるま保健学会誌
執 筆 要 領

1．投稿する論文は，独創的で学術的な価値が認められるものでなければならない。
　また，国内外を問わず，他誌に掲載されたもの，掲載予定のもの，自らあるいは第三者のホームページに収載または収載予定のものは投稿できない。
2．原稿の長さは，原則として以下のとおりとする。

原　著：	邦文原稿　10000 字以内	図表を含まない
	欧文原稿　 5000 語以内	図表を含まない
	（ただし，人文・社会科学系については邦文原稿 20000 字以内，欧文原稿 10000 語以内とする。）	
短　報，その他：	邦文原稿　 4000 字以内	図表を含まない
	欧文原稿　 2000 語以内	図表を含まない

3．欧文原稿はＡ４版サイズの用紙に周囲３cm の余白をのこしてダブルスペースで印字する。邦文原稿でワープロ使用の場合は 700 字程度（例：35 字× 20 行）をＡ４版サイズの用紙に印字し，手書きの場合は 400 字詰めの原稿用紙を用いる。
4．原稿の表紙には，表題，著者名，所属の順に記載し，欧語で 5 個以上のキーワードをつける。欧文の場合，タイトルは，固有名詞や記号等を除き，最初の１文字のみを大文字で記す。氏名の表記は名，姓の順とする。著者の所属の表記は筆頭者の場合無記号，共著者の所属が異なる場合はその著者名の右肩およびその所属名の冒頭に＊，＊＊ 印をつける。
　また，筆頭著者の連絡先を記載する。
5．邦文原稿には欧語の表題，著者名，所属をつける。欧文原稿には邦語の表題，著者名，所属をつける。
6．原著には 400 語程度の欧文の要旨，および 600 字程度の邦文の要旨をつける。
7．邦文原稿は原則として常用漢字，ひらがな，現代かなづかいを用い，外国語固有名詞（人名など）は原語を，一般に日本語化された外国語は片かなを用いる。
　欧文原稿は当該国人が読んで，正確，明解に理解できるものでなければならない。
　また，学位申請論文については，欧文校正責任者の証明書を付けること。
8．度量衡は，国際単位など汎用されているものを使用する。
9．論文の項目の区分は原則として下記の例に従う。
　大項目――無記号で上を１行開け，行の第２字目に記す。
　　はじめに（Introduction），方法（Methods），結果（Results），考察（Discussion），文献（References）などが相当する。
　小項目――１．，２．として上下を開けずに行の第２字目に記す。続いて１），２）として行の第２字目に記す。
10. 図（Figure）および表（Table）にはそれぞれ別の通し番号をつける。
11. 邦文原稿のとき図表のタイトル，説明は日本語，外国語のいずれかに統一する。
12. 写真はキャビネ大の印画紙（12cm × 16.5cm）に焼き付け，台紙に貼付する。
　図表の通し番号を記入する。図表のタイトル，説明文はまとめて原稿の末尾につけ，原稿本文中の欄外余白部に挿入位置を朱記し明示する。
13. 写真は白黒のものとするが，カラー写真の掲載は著者負担とする。
14. 謝辞は本文の末尾に入れる。
15. 文献は引用順に配列し，本文の末尾に一括記載する。外国語文献はタイプする。
　本文中の文献引用個所には著者名や引用文などの右肩に[1)，1・3・6)，1－5)]のように記す。参考文献は記載しない。
16. 文献の記載様式は下記の要領に従う。
　雑誌の場合
　雑誌の略語は lndex Medicus の様式に従う。
　著者名は 3 名までは全員記載する。ただし，4 名以上の場合は 3 名連記の上，＿，他，あるいは＿，et al とする。
　欧文の記載では，コロン，カンマ，は半角を用いること。

文献記載方法の例

単行本（発行場所の記載は外国の場合のみ）

吉田幸雄：図説人体寄生虫学 6 版，南山堂，pp∧20-33, ∧2002
　　半角　半角

戸塚恭一，山浦常：NEW CHART 内科（８）感染症，医学評論社, pp ∧227-231, ∧2001
　　半角　半角

Churukain CJ：Microwave Ziehi-Neelsen Method for Acid-Fast Bacteria, Histotechnology ASCP Press, Chicago, ∧pp∧184-185, ∧1993
　　半角　半角　半角

雑誌

村山繁雄，斉藤祐子，金子和富，他：ブレインバンクの構築と課題，日老医誌 42：483-489, 2005

Murayama S, Saito Y: Neuropathological diagnostic criteria for Alzheimer disease. ∧Neuropathology ∧24:∧254-260, ∧2004
　　半角　半角 半角　半角

例

Moon A, Lawson K, Carpiac M, et al: Elder abuse and neglect among veterans in Greater Los Angeles prevalence, types and intervention outcomes. J Gerontol Soc Work 46: 187–204, 2006

分担執筆

山口晴保：Alzheimer 型痴呆，神経病理学（朝永政徳，桶田理喜編），朝倉書店，pp 166–172，1992

著者は論文投稿時に表紙に本文の文字数（邦文の場合は字数，欧文の場合には words 数）と図表の枚数を記載すること。

17．論文の記載様式が執筆要項と大きく異なる場合，論文は受理されないことがある。

平成 17 年　6 月　一部改定
平成 18 年　6 月　一部改定
平成 19 年　1 月　一部改定
平成 21 年　1 月　一部改定

平成 28 年度会誌編集委員会

委　　員　　長 ： 真 田　　茂
看 護 科 学 領 域 ： 田 淵 紀 子
： 津 田 朗 子
： 藤 野　　陽
医 療 科 学 領 域 ： 真 田　　茂
： 鷲 山 幸 信
： 尾 崎　　聡
リハビリテーション科学領域 ： 三 秋 泰 一
： 横 川 正 美
： 米 田　　貢

平 成 29 年 2 月 7 日 編 集
平 成 29 年 2 月 13 日 印 刷
平 成 29 年 2 月 20 日 発 行

発 行 者：金沢大学つるま保健学会
〒920-0942 金沢市小立野5丁目11番80号
Publishing office： Tsuruma Health Science Society,
Kanazawa University
5-11-80, Kodatsuno, Kanazawa 920-0942,
JAPAN

印 刷 所：株式会社 メディカルアート
〒920-0934 金沢市宝町13番1号
MEDICALART Co.LTD.,
Kanazawa 920-0934, JAPAN

金沢大学つるま保健学会誌　J Tsuruma Health Sci Soc, Kanazawa University